

大阪工業大学

海外研究支援プログラム

募集要項

(2019 年度・第 7 期生募集)

国際交流センター

研究目的の海外派遣をサポートします。期間は1ヶ月以上、行き先は指導教員が推薦するところへ。
本学大学院生と本学大学院進学を決めた4回生（専門職学位課程進学を決めた3回生）が対象です。

主要日程

- 2019 年度募集ガイダンス
 - ◇ 大宮キャンパス：2019 年 2 月 15 日（金）13:30～14:00 231 教室 （2 号館 3 階）
 - ◇ 梅田キャンパス：2019 年 2 月 14 日（木）13:30～14:00 1001 教室 （10 階）
 - ◇ 枚方キャンパス：2019 年 2 月 13 日（水）13:30～14:00 語学自習室（1 号館 2 階）
- 2018 年度成果報告会
2019 年 2 月 26 日（火）13:00～14:30 大宮キャンパス 7 号館 6 階 765 教室
- 応募申請期限
2019 年 4 月 19 日（金）17:00 国際交流センター必着
- 選考結果発表
2019 年 5 月 31 日（金）

前年度「募集要項」からの主な変更点について

■支援内容

① 渡航費

大学の支援の範囲を、渡航費実費の9割に変更します。1割は、派遣学生の負担となります。

【4 ページ参照】

② 受入先での研究にかかる費用

上限金額を 100,000 円とします。

【4 ページ参照】

■航空券見積書の取得について

渡航日程を固定して見積を取得してください。いわゆる OPEN チケットで算出した見積書の添付は認めません。

【3 ページ参照】

■申請期限

4月19日（金曜日） 17時

例年より1週間早まっていますので、ご注意ください。

【4 ページ参照】

■募集要項・応募申請書の入手方法

学生自身が入手できるように変更しました。本学ウェブサイトの国際交流ページから、各自でダウンロードしてください。

【3 ページ参照】

1. 目的

本学大学院に進学が決定した学部生および大学院生に、研究を目的とした海外渡航の機会を提供し、研究の連携・推進と人材の育成をはかる。

2. 求められる人材像

本プログラムの参加者に求められる能力、資質等は以下の通り

- ・ 海外で自身の研究を行う意義を明確に理解している。
- ・ きちんとした根拠に基づいて、海外での研究計画を立てている。
- ・ 海外派遣にあたり、自身が主体的に準備を進めている。
- ・ 英語などの外国語でのコミュニケーションに備えて、十分な準備を行っている。
- ・ 異文化での生活に向けた心構えと準備ができています。

3. 募集内容

本目的のために海外渡航を希望する者を選考のうえ、海外研究支援プログラムの対象者として選抜する。

(ア) 申請資格

下記①から③に該当する学生

- ①渡航時に大学院進学が決定している学部生（大学院学内進学者入試・大学院第1回入試受験予定者）、または大学院博士前期課程・専門職学位課程に在学の者

＜大学院第1回入試受験予定者について＞

- ・ この学生は派遣者として選抜されても、正式確定は大学院入試合格後とする。
- ・ 大学院入試の可否と本プログラムの採否は、まったく別に判定する。

- ②派遣先で活動できる十分な語学力を有する者

(A 枠) 申請時まで TOEIC400 点以上、もしくは前年度までの英語の学業成績が GPA2.5 以上の学生

(B 枠) 上記の制限なし

- ③過去に、本プログラムで海外派遣されていない学生

(イ) 募集人数・申請枠・採択枠について

25 人程度（予算に残額があり、適格者が多数いる場合、これを超えて採用することがある）

採択者のうち、A 枠申請者の中から最大 9 人を「A 枠（協定校 JASSO 推薦枠）」として採択する。

この枠に採択されると生活援助金が増額になる（「5. 支援内容」参照）が、JASSO 側の条件として語学力の保証と派遣先が「協定校」であることが必要となるため、申請枠を次の 3 種とする。

申請枠	条件	採択枠※
A 枠（ <u>協定校</u> ）	A 枠の条件を満たし、派遣先が <u>協定校</u>	A 枠（協定校 JASSO 推薦枠） または A 枠（本学支援枠）
A 枠（ <u>協定校以外</u> ）	A 枠の条件を満たし、派遣先が <u>協定校以外</u>	A 枠（本学支援枠）
B 枠	制限なし	B 枠

※ 各採択枠により生活援助金の支給上限額が異なる（「5. 支援内容」参照）

※ A 枠（協定校）申請者は、申請書類に家計調査票と 2018 年度後期学業成績簿写しの提出が必要（「(オ) 応募申請書類」参照）

(ウ) 派遣期間と時期

- 派遣期間：1 カ月以上（32 日以上） ※渡航日を除く。
- 派遣時期：2019 年 7 月 1 日～2020 年 1 月 31 日
- この期間・時期以外の派遣を特に計画する場合、明確な理由を添えること。

- 派遣計画の出発予定は、次のとおりとして申請すること。
 - 大学院生、大学院学内進学者入試合格者
 - A 枠（協定校以外）および B 枠： 7 月 1 日以降
 - A 枠（協定校）： 8 月 1 日以降
 - 大学院第 1 回入試受験予定者：10 月 1 日以降
- ビザ取得に要する時間も考慮して、出発日を計画すること。

(エ) 派遣先

共同研究やインターンシップを行う大学、研究所、企業等 とする。
語学学習・授業聴講を目的とした派遣は認めません。

<指導教員のみなさまへのお願い>

- ◇ 派遣先は、指導教員が中心となって選定し、派遣先での指導教員を調整ください。
- ◇ 申請書類提出時には、本学学生の受入について派遣先での指導教員の下承を得ておいてください。

(オ) 応募申請書類

- 入手方法
応募申請書類のフォーマットは、本学ウェブサイトの国際交流ページからダウンロードできる。
<http://www.oit.ac.jp/japanese/international/index.html>

➤ 提出書類

【A 枠・B 枠共通】

- ・応募申請書
 - ☞ 学生が記入する欄と指導教員が記入する欄がある。指導教員と相談しながら作成すること。
- ・航空券見積書（学生用・教員用^{注1)}
 - ☞ 渡航日程を固定して見積を取得すること。日程を定めないのであるオープンチケットで算出した見積書の添付は認めない。
- ・施設使用料請求書（費用が発生する場合のみ）

【A 枠申請者のみ】

～全員～

- ・英語能力を証明する書類
（「TOEIC SCORE REPORT」もしくは「2018 年度後期学業成績簿写し^{注2)}」）

～受入先が協定校の申請者～

- ・家計調査票
学部生と大学院生で様式が異なるので、該当の様式を使用すること。
- ・2018 年度後期学業成績簿写し^{注2)}
- ・JASSO 成績係数算出表

<注 1> 教員用は、派遣時に指導教員が同行する場合のみ提出すること。

<注 2> 提出は 1 通でよい。

(カ) 応募申請書類提出先

国際交流センター（大宮キャンパス Chast 1 階）

T e l： 06-6954-4935（内線 大宮 805-2025）

Email： OIT.Kokusai@josho.ac.jp

担 当： 中尾

- 梅田キャンパス・枚方キャンパスの学生は、各所属学部事務室へ提出のこと。

- 提出は申請する学生本人が行うこと。
- 提出時に、窓口で面接日程の申し込みをすること。面接時間は、先着順に設定できる。

(キ) 申請期限

2019年4月19日(金) 17:00【厳守】

(ク) その他

- ① 応募を考える学生は募集ガイダンスに参加すること。
 大宮キャンパス：2019年2月15日(金) 13:30～14:00 231教室 (2号館3階)
 梅田キャンパス：2019年2月14日(木) 13:30～14:00 1001教室 (10階)
 枚方キャンパス：2019年2月13日(水) 13:30～14:00 語学自習室 (1号館2階)
- ② 2018年度成果報告会を開催するので、①とあわせて出席し、前年度の状況を把握しておくこと。
 2019年2月26日(金) 13:00～14:30 大宮キャンパス 7号館6階765教室

4. 選考方法

(ア) 面接選考

提出された申請書類に基づき、国際交流センターにて面接選考を行う。面接では申請書に記載された研究計画・準備状況の確認のほか、英語力審査も行う(A枠・B枠とも)。
 (詳細は以下の「7. (イ) 選考プロセス」に記載)

(イ) 選考日程

- ① 2019年4月19日(金) 申請書類提出期限(厳守)
- ② 2019年4月下旬～5月中旬 応募学生面接(国際交流センター)
- ③ 2019年5月31日(金) 派遣学生発表(ポータルで応募者全員に通知)

5. 支援内容

(ア) 派遣学生に対する支援内容

- ① 渡航費実費の**9割**
 - 航空運賃、燃油サーチャージ、空港利用料、外国諸税、航空券手配手数料が対象。
 ただし、航空運賃が高額と判断された場合は、航空会社・経路・渡航期間等の変更を求めることがある。
 - 稟議決裁における指定業者の見積額を上限に、実費の9割を支給する。
- ② 受入先での研究にかかる費用
 - いわゆる受入先でのベンチフィーや施設使用料に相当する費用が該当。
 - 100,000円を上限に支給する。
 - 宿泊費やビザ取得費用は含まない。
 - 申請額が外貨建ての場合は、採用決定後の支援金支給手続き時における為替レートに基づき日本円で支給する。
- ③ 生活援助金(宿泊等生活費の一部として)

申請枠	採択枠	支援内容
A枠(協定校)	推薦順位が JASSO 枠内 A枠(協定校 JASSO 推薦枠)	「日本学生支援機構海外留学支援制度」から奨学金1カ月10万円～6万円を支給。ただし、家計・成績基準を満たさない場合は、本学から一日2,000円を支給
	推薦順位が JASSO 枠外	1日2,000円を支給
A枠(協定校以外)	A枠(本学支援枠)	
B枠	B枠	学生面接の結果により、一日最大2,000円を支給

- 採択された支援を申請する場合、指導教員が学生の派遣および教員の引率出張について出発の1ヶ月前までに稟議起案し、国際交流センターへ提出すること。これに遅れる場合、学生および教員への費用振込が派遣開始後となる場合がある。
- 除籍等で本学学生としての身分を失った場合、すぐに帰国のうえ、既に支給している経費支援の内、身分喪失後に該当する金額を返納しなければならない。
- 研究期間の途中で帰国することになった場合、既に支給している経費支援の内、大学が指示する金額を返納しなければならない
- 学生の自己負担となるもの
 - 渡航費実費の1割
 - 本学が指定する海外旅行保険加入費用
 - パスポート・(必要により発生する)ビザ取得にかかる費用
 - 現地での生活費(食費や大学寮費を含む)・交通費、国内の空港までの交通費

(イ) 教員が引率する必要がある場合の支援内容

出国日から帰国日を含め5日間*を限度とした指導教員の出張費用(旅費規定に準拠)

※派遣先を5日目に出発し、日本到着が6日目(4泊6日)となることは可。

6. 派遣学生の学籍等の取扱いおよび義務

(ア) 学籍、学費について

- 派遣期間中も通常の「在籍」として扱う
- 派遣学生は、派遣期間中も本学に通常の学費を納めること

(イ) 教学について

- 研究活動
派遣期間中の研究活動は卒業研究・大学院研究活動の一環として認める。ただし、学生は本学指導教員に対し、電子メール等を利用して2週間に1回、研究進捗報告書(任意様式)を提出すること。
- 正課授業
本学の正課授業の科目のうち、授業期間の過半数以上が派遣期間と重なる科目の履修は認めない。

(ウ) その他、派遣学生の義務

- 渡航前ガイダンス(2019年6月実施)の出席、および成果報告会(2020年2月実施)で必ず研究成果を報告すること。
- 派遣決定後、LLCなどを利用して英会話力の向上を積極的に行うこと。
- 派遣前・派遣終了後にTOEICを受験し、スコアを報告すること。
- 派遣期間中は、研究の進捗状況を指導教員に報告し、指導を仰ぐこと。
- LLC教員が研究活動の一環で、派遣期間中の研究の進展や生活の様子を尋ねることがあるが、その場合は協力すること。
- 派遣先の国や期間、活動内容に合わせ、必要に応じて適切なビザを取得すること。
- 受入先機関の規則等を遵守しない等、問題行動を指摘された場合、速やかに本学指導教員に報告して、対応策を協議すること。
- 大学が帰国を命ずる等の措置を講じた場合、派遣学生はこれに応じること。

7. 申請についての留意点、選考プロセス

(ア) 申請についての留意点

- 申請にあたり、保証人(学費支弁者)の同意を得ること。
- 派遣先で、インターンシップなどにより、滞在費などの給与等が支給される場合、その額を申請すること。本学支給の生活援助金の標準額を超える場合は、本学からは支給しないこと

がある。

(イ) 選考プロセス

- 申請した学生には、全員に個別の面接を実施する。面接では、申請した内容の確認の他、海外生活での適応力や意欲、英語ディスカッション能力を確認する。
- 面接の評価は、学年・学部・A 枠 B 枠に関わらず、一律に行う。
- 面接結果、採択がボーダーラインになった学生については、指導教員に所見を求めることがある。
- 国際連携推進委員会（委員長：学長，副委員長：副学長）にて、採択者を決定する。

8. これまでの申請者数・派遣者数（参考）

年度	申請者数					派遣者数 (M0/M1/M2)				
	工	ロ	情	知	計	工	ロ	情	知	計
2018	22	5	5	1	33	19 (3/15/1)	5 (0/5/0)	5 (3/1/1)	0 (0/0/0)	29 (6/21/2)
2017	24	2	7	2	35	23 (2/19/2)	1 (0/1/0)	4 (0/2/2)	1 (0/1/0)	29 (2/23/4)
2016	22		7	7	36	20 (6/13/1)		6 (2/3/1)	4 (0/4/0)	30 (8/20/2)
2015	29		2	4	35	28 (5/20/3)		2 (1/1/0)	4 (2/2/0)	34 (8/23/3)
2014	21		4	4	29	18 (6/9/3)		4 (4/0/0)	4 (1/3/0)	26 (11/12/3)
2013	17		0	2	19	15 (8/7/0)		0 (0/0/0)	2 (1/1/0)	17 (9/8/0)

9. A 枠（協定校）への申請について

- A 枠（協定校）の申請者のうちから、最大9名を「A 枠（JASSO 推薦枠）」として採択する。この枠で採択されると生活援助金は「日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援奨学金」から、奨学金として月額10万円から6万円が支給される。この奨学金は給付制で、返還の必要はない。
- 奨学金の月額は派遣先地域により異なる。詳細は8頁を参照のこと。
- 奨学金給付にあたっては、JASSO の指定する次の要件を充足する必要がある。A 枠（協定校）に申請する場合は、以下の【申請資格】に該当することを確認の上申請すること。

【申請資格】

- ① 申請時まで TOEIC400 点以上、もしくは前年度までの英語の学業成績が GPA2.5 以上の者。
- ② 2018 年度の学業成績が、JASSO の成績基準である 3.00 満点中 2.30 以上であること。
(算出基準は応募申請書類の「JASSO 成績評価係数算出表」参照)
- ③ 派遣先が本学協定校であること。協定によっては、学部、学科、研究科が限定されているものがあるので、前もって確認すること。
- ④ 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者。
- ⑤ 他団体等から本プログラム参加のための奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金月額が本制度による支給金額を超えない者。
注1) 他団体等から奨学金を受ける場合、当該奨学金支給団体側においては、本制度との併給を認めない場合があるので、各自で当該団体に確認すること。
注2) 日本学生支援機構が実施する第一種奨学金、第二種奨学金との併給は可能。
- ⑥ 次の3点が確実に実行できること。
 - a) 留学中に必要となる在籍報告(毎月)を期日どおりに報告すること。
 - b) 奨学金受給前、受給終了後に日本学生支援機構に提出が必要な書類を遅滞なく提出すること。
 - c) 奨学金受給終了後も在学中は本奨学金制度のフォローアップのための追跡調査に協力すること。

➤ 渡航支援金について

以下の家計基準を満たす場合に、奨学金の他に「渡航支援金 160,000 円（定額）」が支給されることがあります。希望する場合は、申請書提出前に国際交流センターに相談してください。

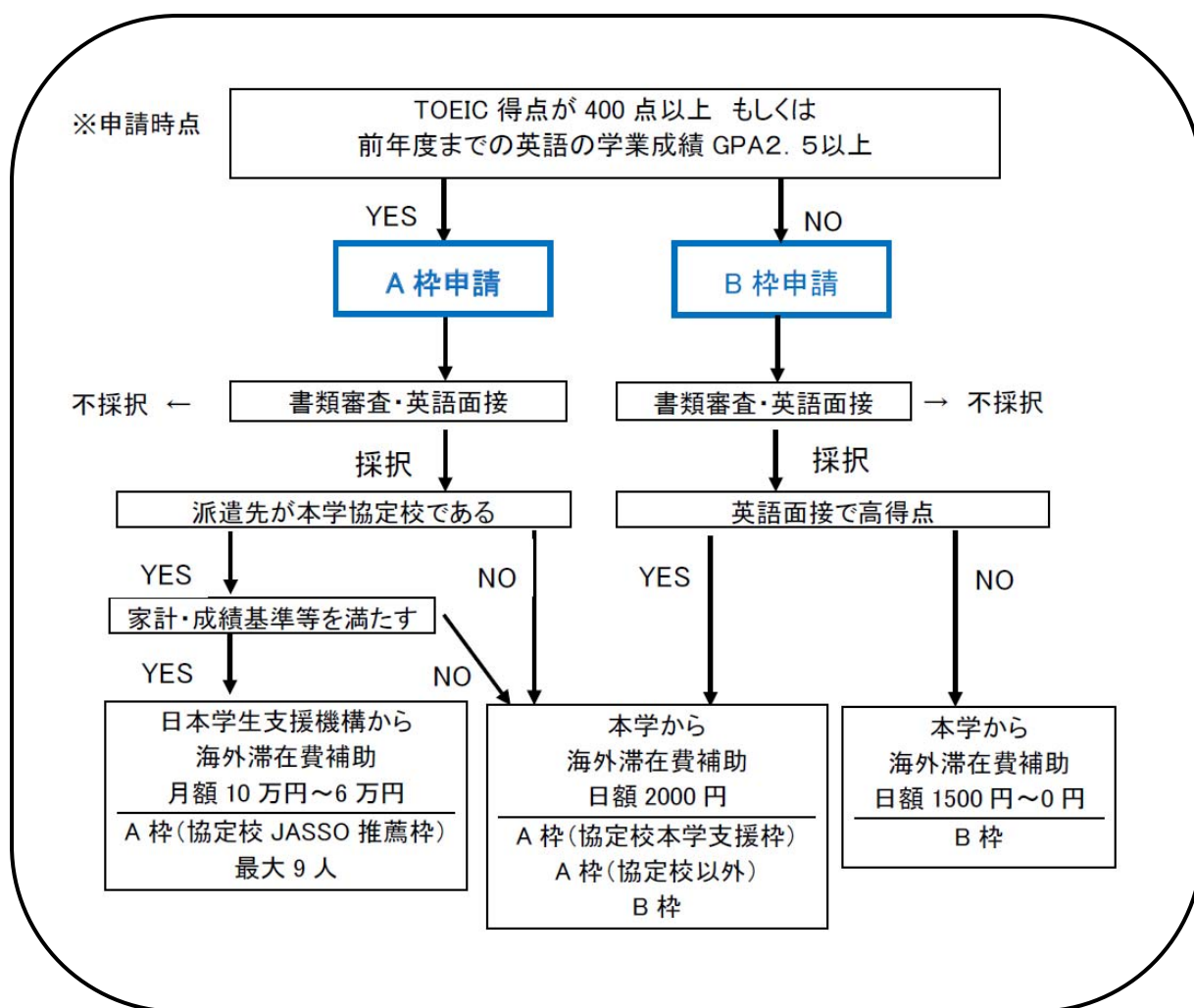
なお、JASSO から渡航支援金が支給される場合は、本学から渡航費用の支援は行いません。

【家計基準】学部生・大学院生共通

家計支持者の所得金額（父母共働きの場合は父母の合計額）が次の金額である者

給与所得のみの世帯	年間収入金額（税込）が 300 万円以下
給与所得以外の所得を含む世帯	年間所得金額（必要経費等控除後）200 万円以下

【参考】A 枠と B 枠「生活援助金」の違い



日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援奨学金の額

派遣先地域による奨学金月額

地 区	地域名・都市名	地 区	地域名・都市名
指定都市 奨学金額: 100,000円 ※※	アビジャン アブダビ クウェート サンフランシスコ シンガポール ジッダ ジュネーブ ニューヨーク パリ モスクワ リヤド ロサンゼルス ロンドン ワシントン D.C.	乙地方 奨学金額: 70,000円	指定都市、甲地方、丙地方以外の地域 【主な都市】 ウェリントン クアラルンプール サンクトペテルブルク シドニー ジャカルタ ソウル ソフィア タシケント バンコク ブラハ ブダペスト マニラ メルボルン ヤンゴン
甲地方 奨学金額: 80,000円	・北米 ・欧州 ・中近東 (アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、ジョージア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシアを除く) 【主な都市】 アムステルダム アンカレッジ ウィーン ヴァンクーバー エルサレム コペンハーゲン シアトル シカゴ チューリッヒ トロント ニューオリンズ ハンブルグ フランクフルト ブラッセル ホノルル ボストン マドリッド モントリオール ローマ	丙地方 奨学金額: 60,000円	・アジア (インドシナ半島*、インドネシア、大韓民国、東ティモール、フィリピン、ボルネオ、香港を除く) ・中南米 ・アフリカ *インドシナ半島:シンガポール、タイ、ミャンマー、マレーシアを含む 【主な都市】 カイロ ケープタウン サンパウロ 上海 台北 ナイロビ ブエノスアイレス 北京 メキシコシティ リオデジャネイロ リマ

※地区の区分は「国家公務員等の旅費に関する法律」(昭和25年法律第114号)及び「国家公務員等の旅費支給規程」(昭和25年大蔵省令第45号)による。

※※本制度の指定都市について、派遣先大学等の住所表記に指定都市名が含まれる都市に限ることとしますので、ご注意ください。